



2026年5月15日

各位

会社名 株式会社 プラコー
代表者名 代表取締役社長 古野 孝志
(東証スタンダードコード6347)
問合せ先 執行役員経理部部長 早川 恵
電 話 048-798-0222

2026年3月期 通期業績予想（連結・個別）と実績値との差異に関するお知らせ

2026年2月13日に公表いたしました2026年3月期通期連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）及び2025年5月15日に公表いたしました2026年3月期通期個別予想（2025年4月1日～2026年3月31日）と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 通期業績予想と実績値との差異

(1) 連結

2026年3月期 通期連結業績予想と実績との差異（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 2,800	百万円 150	百万円 150	百万円 100	円銭 11.18
実績値（B）	2,679	138	135	82	8.72
増減額（B－A）	△120	△11	△14	△17	—
増減率（％）	△4.3	△7.7	△9.5	△17.2	—
（ご参考）前期通期実績 （2025年3月期）	2,227	△139	△139	△95	△10.71

(2) 個別

2026年3月期 通期個別業績予想と実績との差異（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 2,400	百万円 110	百万円 70	円銭 7.82
実績値（B）	2,179	158	109	11.52
増減額（B－A）	△220	48	39	—
増減率（％）	△9.2	44.1	56.2	—
（ご参考）前期通期実績 （2025年3月期）	2,128	△144	△94	△10.58

2. 業績予想との差異理由

2026年3月期の通期連結業績は、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を若干下回りましたが、連結業績の中心は個別業績によるものであり、連結子会社の業績が与える影響は軽微で、全体の業績に与える影響は限定的です。

2026年3月期の通期個別業績につきましては、売上高は予定されていたインフレーション成形機の売上計上が翌期の計上となったため、前回発表を下回りました。経常利益は追加コストの減少及び製品のコストダウンに努めた結果、前回発表を上回りました。当期純利益は、税金費用が増加しましたが前回発表予想を上回る結果となりました。

以上の結果、業績予想数値と実績値との差異が発生いたしました。

以 上